

# 平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 松ヶ江南 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成29年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

### 1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

- (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

- (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

#### 全国・本市・本校の実技調査の結果

##### <男子>

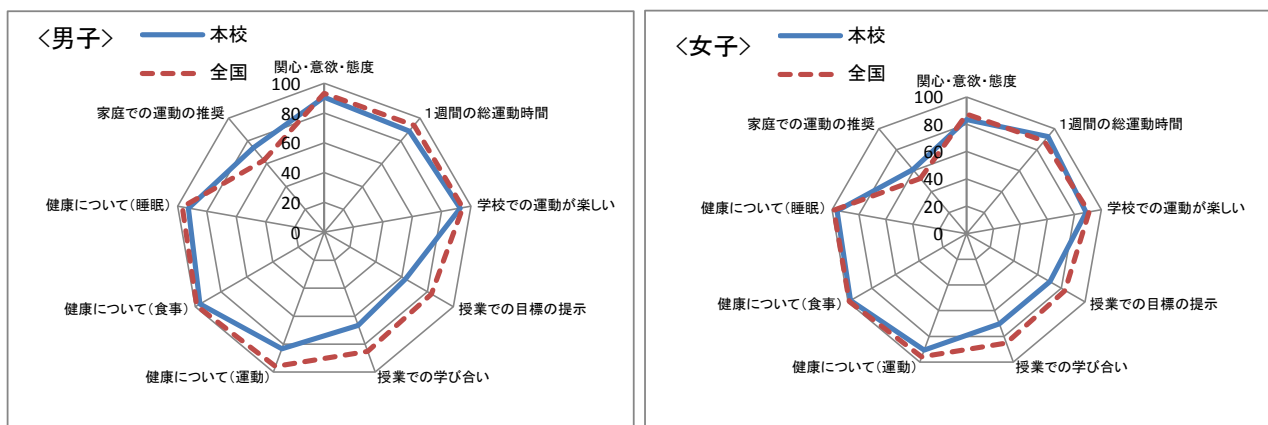
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
本市	16.67	20.32	33.09	40.91	52.67	9.38	152.51	24.17	54.37
全国平均以上の種目		○	○					○	

##### <女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72
本市	16.47	19.16	37.19	39.55	42.13	9.62	145.98	14.41	55.96
全国平均以上の種目	○		○					○	

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

- 健康を保持・増進するために適度な「運動」「食事」「睡眠」が必要であるとの認識が、男子は全国平均よりも若干低く、女子は全国と同程度であることから、健康の三原則について、体育科保健の学習のみならず、様々な機会に指導していく。
- 体育の授業が、「楽しい」と回答した児童の割合は、男女とも全国平均よりも低いことから、「めあて」「話し合い活動」「振り返り」を確実に設定し、自己の高まりを実感したり、チームで考えたりプレイしたりすることの楽しさを味わわせたりすることができるように授業改善を行う必要がある。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 体育授業において「めあて」や「振り返り」を確実に位置付ける。
- 「北九州市体力向上プログラム」を活用し、主運動に適した準備運動を取り入れる。
- 体育科の授業時間に30秒間走と30秒間なわとびを年間を通して全学年で実施する。
- 単元に応じた「ジャンプアップ運動」を取り入れる。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 中休み終わり3分間を「体力アップタイム」と位置付け、走ったり、縄跳びをしたりする取組を行う。
- 縦割りを生かしてスポーツテストや体力アップ運動を行う